

【様式 02】高大連携公開講座シラバス

* 科目 No.	06208
----------	-------

1. 開設大学	県立広島大学	開催方法 (キャンパス・施設)	☒ 対面 (広島キャンパス) ☐ オンライン (同時・録画)			
2. 科目名	生命を形作る細胞の活動を学ぶ					
	学問分野	番 号	32、33	名 称	理学および農学	
3. 担当教員	八木俊樹 生物資源科学部 生命環境学科生命科学コース 教授 阿部靖之 生物資源科学部 生命環境学科生命科学コース 准教授					
4. 開講期間 (曜日) 開講時間	令和 6 年 7 月 27 日 (土) 9 時 00 分 ~ 12 時 10 分 (90 分×2 回)					
個別開講日	1 回目 /	2 回目 /	3 回目 /	4 回目 /	5 回目 /	6 回目 /
5. 募集定員	30 人					
6. 科目内容・ 授業計画	私たちの体は 37 兆個もの細胞で形作られていますが、1 個の受精卵が分裂を繰り返すことにより生じ、その過程で固有の性質を持つように分化します。分化した細胞のうち、形や機能が同じもの同士が集合し組織を形成し、さらに複数の組織が組み合わさって器官(臓器)を形成することで、それぞれの機能を果たしています。受精するためには精子が卵子に到達することが必要ですし、組織形成には特定の方向や部位へ細胞が協調的に移動することが必要です。ここでは、受精・発生、細胞運動をキーワードに、2 人の講師が異なる視点から「細胞」の活動について解説します。 1 限目 9 : 00-10 : 30 八木俊樹 「細胞の運動の仕組みを見る」 ヒトを含む高等動物の多くは、骨格につながった筋肉により運動します。また、体を形作る多くの細胞は、自身の変形運動、あるいは、鞭毛・繊毛といった運動装置により適切な場所に移動して固有の機能を発揮します。これらの生物の運動能力は生物らしさを生み出す特徴のひとつです。ここでは、細胞の運動を担う運動器官に焦点をあて、その運動メカニズムを紹介します。 2 限目 10 : 40-12 : 10 阿部靖之「受精・発生の仕組みと医療への応用」 生殖細胞の形成や受精、その後の発生など生殖現象の理解が進み、体外で人為的に行うことも可能になってきました。これらの技術は、ヒト不妊治療や動物生産に利用されており、不妊に悩むカップルや家畜における繁殖障害の増加、動物生産の多様化などから、重要性が増しています。ここでは、生殖の現象を最近の知見をまじえて解説するとともに、安定的な次世代産出を目指して実施されている技術開発の試みを紹介します。					
7. 受講料	無料					
8. 別途負担費用	(テキスト代・実習料等) なし					
9. 開講条件※1 あり・ ☒ ない	① 最少開講人数 (5 人) 定員超過の不許可は選考により決定 ② 不許可・不開講通知日 : 6 月末まで					
10. その他特記事項	受講者についての制限事項、オンライン (同時・録画) の使用ソフト、受講時の注意など					
11. 開設大学への 交通手段	https://www.enica.jp/ 開設大学のホームページにジャンプして確認してください。					

※申込時点で原則、受講できます。ただし、開講条件で不許可・不開講があった場合は受講申込者へ通知します。